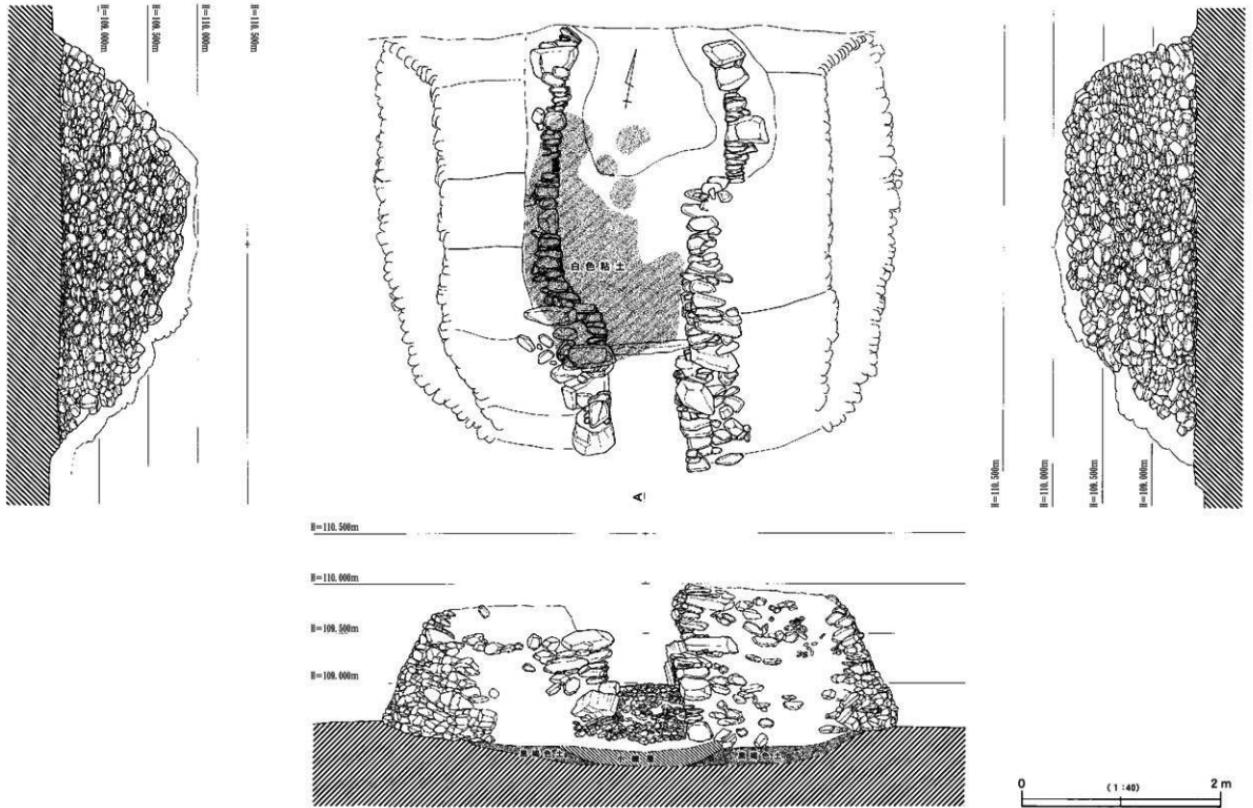
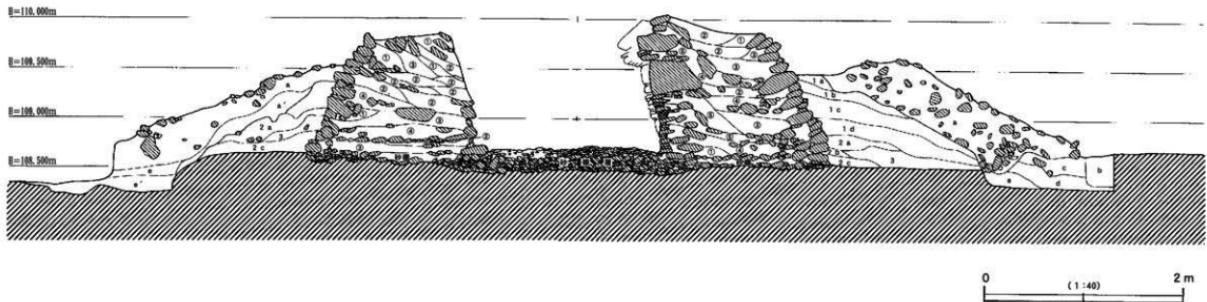


第4図 長沖古墳群 古墳分布図



第10図 第42号填石室立面図



第13図 第42号墳東西セクション図

第42号墳 墳丘土層説明(第12・13図)

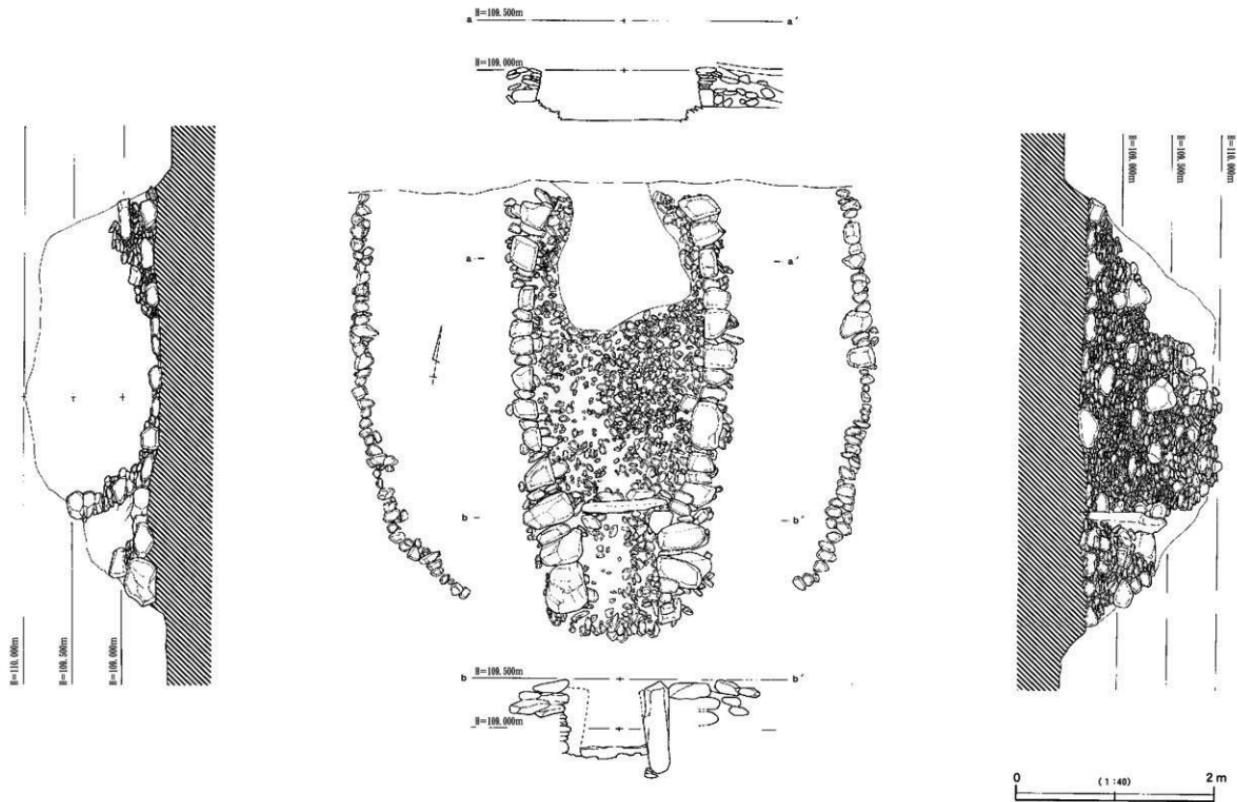
- 第 a 層 暗灰褐色土 暗灰褐色土を主体とし、繊 ( $\sim 20\text{cm}$ ) を多量、小穢 ( $\sim 2\text{cm}$ )、砂粒 ( $\sim 5\text{mm}$ ) を中量含む。しまりはなくザラザラしている。粘性なし。(後世、耕作に伴う盛土をした纏)
- 第 a' 層 暗灰褐色土 第a層に準ずるが、纏がやや少なく黄褐色砂礫土 ( $\sim 1\text{cm}$ ) が少量斑状に混在する層。埴丘盛土を除去した後にひかえ積内土が混ざったものか。
- 第 b 層 暗灰褐色土 暗灰褐色土を主体とし、小穢 ( $\sim 1\text{cm}$ ) を微量、砂粒 ( $\sim 5\text{mm}$ ) を少量含む。しまりは軟らかく、粘性は低い。<根切溝>
- 第 c 層 暗灰褐色土 第b層に準ずるが、纏がやや少ない。
- 第 d 層 暗灰褐色土 暗灰褐色土を主体とし、暗褐色土・黒色土粒子 ( $\sim 0.1\text{mm}$ ) を少量含む。層中には小穢 ( $\sim 1\text{cm}$ )・砂粒 ( $\sim 5\text{mm}$ ) を少量含む。しまりはやや軟らかく、粘性は低い。
- 第 e 層 黒灰褐色土 暗灰褐色土を主体とし、黒色土粒子 ( $\sim 0.1\text{mm}$ ) を中量含み、層中には小穢 ( $\sim 1\text{cm}$ )・砂粒 ( $\sim 5\text{mm}$ ) を少量含む。しまりはやや軟らかく、粘性は低い。

埴丘盛土部分

- 第 1 a 層 暗褐色土 暗褐色土を主体とし、黒色土・黄褐色砂礫土 ( $\sim 2\text{cm}$ ) を微量含む。しまりはやや硬く、粘性は低い。
- 第 1 b 層 暗褐色土 暗褐色土を主体とし、黒色土を少量含む。層中には小穢 ( $2 \sim 5\text{cm}$ ) を少量含む。しまりはやや硬く、粘性は低い。
- 第 1 c 層 暗褐色土 暗褐色土を主体とし、黒色土・黄褐色砂土 ( $\sim 5\text{mm}$ ) を層状 ( $2 \times 3\text{cm}$ ) に少量含む。層中には小穢 ( $1 \sim 4\text{cm}$ ) を中量含む。しまりはやや硬く、粘性は低い。
- 第 1 d 層 明黒色土 黑色土を主体とし、暗褐色土を少量含む。層中には小穢 ( $\sim 1 \sim 3\text{mm}$ ) を中量含む。しまりはやや硬く、粘性は低い。
- 第 2 a 層 黄褐色砂礫土 黄褐色砂礫土 ( $\sim 3\text{cm}$ ) を主体とし、暗褐色土小塊 ( $\sim 5\text{cm}$ ) を層状に微量含む。しまりはやや軟らかく、ボロボロ崩れる。粘性なし。
- 第 2 b 層 黄褐色砂土 黄褐色砂土を主体とし、他土は含まない。しまりは軟らかく、ボロボロ崩れる。粘性なし。
- 第 2 c 層 黄褐色砂土 第2 b層に準ずるが、小穢を主体とし、砂粒は少ない。しまりは軟らかく、ボロボロ崩れる。粘性無し。
- 第 c 層 明褐色砂土 喻褐色土。黄褐色砂礫土が主体をなし、小塊状 ( $\sim 10\text{cm}$ ) に層状に混在する層。黒色土小塊 ( $\sim 8\text{cm}$ ) を微量含む。しまりはやや硬く、粘性は低い

塗積内部

- 第① 層 黒褐色土 黒褐色土を主体とし、小穢・砂を少量含む。<旧表土層>
- 第② 層 黄褐色砂質土 黄褐色砂質土を主体とし、小穢・砂多量に含む。<基盤層>
- 第③ 層 黄褐色砂利層 黄褐色の小穢・砂粒を主体とする。
- 第④ 層 黄褐色砂利層 黄褐色の小穢・砂粒を主体とし、礫石 ( $\sim 10\text{cm}$ ) を含む。
- 第⑤ 層 黑褐色砂利層 黑褐色土を主体とし、黄褐色の小穢・砂粒を多量に含む。(第①層と第③層が混在する層)



第14図 第42号填石室内部図